

笠岡市の笠岡諸島・六島のまちづくり協議会が動画を作成しました。記事を読み、質問に答えましょう。

六島観光 非接触で任せて

笠岡のまちづくり協



六島の観光スポットを案内した動画のQRコードが載る「むしまっぷ」(左)

新型コロナウイルス禍の中、「非接触」で観光を楽しんでもらおうと、笠岡諸島・六島のまちづくり協議会は、地元住民が島の観光スポットを案内する動画を作成した。港で配布している島のパンフレット「むしまっぷ」に動画につながるQRコードを新たに記載、「動画の案内で島を巡り、満開のスイセンや島の文化を満喫して」と呼び掛ける。

コロナ禍で住民が観光客を直接ガイドしにくいことや、来島できない人にも島の魅力を知ってもらおうと企画した。

住民の案内動画作成

動画で案内するのは、12月に点灯から100周年を迎える「六島灯台」▽廻し神輿で有名な「大島神社」▽360度広がる瀬戸内海の風景を楽しめる「湛江展望台」▽公益財団法人日本離島センターが選ぶ「しま山100選」の一つ「大石山」▽カフェやゲストハウスとして利用できる「島小屋」の5カ所。昨年12月末、各スポットから住民が魅力や歴史を伝える様子を撮影し、それぞれ2分ほどの映像にまとめた。

六島灯台では、1922年に県内で最初に建てられたことや、笠岡市の本土側より遠い27ヶ先まで光が届くことなどを説明。「天気の良い日にはビールを片手に訪れる」といった住民ならではの楽しみ方も紹介している。

パンフレットは同市笠岡の住吉港と六島の前浦港で配布する。今後、動画に登場する各場所にQRコード付きの看板の設置をする予定という。

島では現在、動画投稿サイト・YouTubeを活用し、住民自身が発信者となってPRする「六島全島民YouTubeバー化計画」が進行中。現在45本をアップしており、今回の案内動画も視聴可能。同協議会の三宅千歳会長は「島だけでなく、住民の魅力も詰まっている。六島に行ってみたいと思うきっかけになれば」としている。(谷本ころ)

2月6日付山陽新聞、日曜ワイド

Q1 六島のまちづくり協議会が作成した動画はどのような内容ですか。第1段落の言葉を使って穴を埋めましょう。

が島の スポットを する動画

Q2 同協議会が動画作成を企画したのは「島の魅力を知らってもらうため」というのが理由の一つです。もう一つの理由を第2段落から抜き出しましょう。

Q3 動画につながるQRコードは六島のパンフレット「むしまっぷ」に掲載しています。「非接触」で観光してもらうため、同協議会が今後計画していることは何でしょうか。第5段落を読み答えましょう。

過去の問題は
 こちらから▶▶